

庁舎等建設特別委員会

当委員会では、3月定例会最終日に委員長報告を行いましたので、その要旨を掲載いたします。

本庁舎・文化ホール・図書館の建設場所を決定！

本庁舎・文化ホール・図書館建設について、平成24年2月21日の分科会の答申を受け、3月8日・19日に庁舎等建設特別委員会を開催した。

当委員会としては、建設場所について、本庁舎は現在地に、文化ホール・図書館はウエルピア伊予とすることに決定した。

決定した理由

理由として、現在、市長の諮問機関である伊予市庁舎等基本計画策定審議会において、機能・規模等基本構想（案）の検討がされており、平成24年3月末に、同審議会で

の検討が終了することから、場所について、あれこれと意見を出し、むやみに混乱させてはならないということである。

文化ホール・図書館の建設場所については、ウエルピア伊予は、市民の理解を得て4年前に市が約8億円で購入し、今後も行政が守らなければならぬ大切な文化交流施設である。

今後、文化ホール・図書館の両施設をウエルピア伊予に併設することにより、相乗効果が生まれる。

何よりも平成21年12月に諮問機関としての答申を出された審議会の結論を、最大限尊重すべきであるということが大きな理由である。

施設の集約

審議の過程において、いまだに本庁舎・文化ホール・図書館については、J A えひめ中央「伊

予選果場」に集約し、建設することが望ましいとの考えも根強くある。

また、文化ホール・図書館は、現図書館・中央公民館を解体撤去した跡地に、集約して建設することが望ましいとの意見もあった。

本庁舎については、複合施設として、現計画の5階建てを6階建てとし、庁舎の中に集約すべきで、文化ホールの座席数を300席程度にすれば可能である。

少なくとも図書館が文化ホールどちらかは、庁舎の中に集約すべきであるとの意見もあった。

施設の機能等

機能について、分科会で審議された内容は、次のとおりである。

駐車場の確保

1点目は、本庁舎の駐車場の確保である。現在地に建設すれば、敷地が

限定され、来客用駐車場の確保が困難になる。

庁舎の階数、現在の駐車場の改修等を含めて検討いただきたい。

市民への情報提供

2点目は、本庁舎・図書館・文化ホール等の建設に当たっては、市民との情報共有の観点から、広報紙等で建設に係る情報提供をお願いしたい。

周辺への影響の対応

3点目は、建設工事においては、周辺住宅等への騒音、振動等による影響が予想されることから、低騒音・低振動型の建機の使用等を考慮するとともに、周辺住民に対し、施工内容の説明や周知を徹底すること。

庁舎の構造

4点目は、庁舎の構造は、防災拠点としての機能に十分配慮すること。

議会関係の施設機能

庁舎建設に伴う議会機

能については、3月19日、当委員会で審議した結果、議場を多目的に利用するため、床を平面にとの声もあった。

しかし、議場は議案等を審議する正式な場であり議会専用とし、構造については、段床式（通路はスロープ）にすべきとの意見が多数を占め、決定した。

審議会用図面では、正副議長室、委員会室、議員控室、図書室等が配置されており、現段階では問題ないが、実施に当たっては、理事者側と協議の上、詳細を決定していくことで意見集約を行った。



スロープのない議場の傍聴席